福島県立医科大学学術成果リポジトリ
FUKUSHIMA MEDICAL UNIVERSITY

医師の子育て支援について: 4班 (医学セミナーの試み 2014)

メタデータ	言語: Japanese 出版者: 福島医学会 公開日: 2019-09-17 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: 遠田, 晶生, 遠藤, 秀時, 遠藤, 瑠星, 大島, 麻美, 生越, 知樹, 大関, 佳奈, 岡本, 優衣, 小川, 望美 メールアドレス: 所属:
URL	https://fmu.repo.nii.ac.jp/records/2002124

ルコールチェッカーによるアルコール量測定は，ほとんどの被験者で，通常時と運動時の差がみられなかった。このことから，今回の研究からは酔いと運動の関係性については見いだすことができなかったといえる。

ただ今回の研究を思い返すと，飲酒後に予想と反して血圧の上昇が見られた被験者は，皆一様に酔いが回るのが早かったように思われる。このことから，血圧が上昇したものについては，体質等なにか別の要因により予想と反した結果が出たのではないかと考えられる。おそらく，よいが回るのが早かった被験者に対しては，アルコールからアセトアルデヒドに反応する過程が遅く，血管の拡張が他の被験者と比べて時間がかかったと思われる。研究において飲酒30分後に加え1時間後，1時間半後についても同様のデータをとれば，何らかの関係性は見られたかもしれない。

また，通常時と運動時でのデータに差がみられなかったのについては，今回の研究で運動の有無以外にも，多分に酔いについての外的要因が含まれていた点にあるのではないかと考えられる。今回研究を行なった日は，通常時が7月で，運動時が9月であった。測定日が2ヶ月も開いてしまい，その間に被験者の食生活や体調の変化があったとも考えられる。また，測定日当日についても，測定直前までの食事，運動，睡眠などの健康状態について差があったであろうことは想像がつく。こういった外部要素によって，酔いの度合いは変化を受けると考えると，単純に運動の有無だけでは，酔いの差は調べられないだろう。

以上のことから，運動と酔いとの関係性について明確に示すことはできないが，少なくとも飲酒前の運動が関与するところは，急性的な面においては極めてわずかな部分であり，あまり酔いに影響を与えないようである。しかし，慢性的な運動後の飲酒が人体に与える影響については，我々の知るところではなく，今後の部活動での飲み会において注意すべきことに変わりはないだろう。

6. 参 考 文 献

1. アルコールの基礎知識（札幌医科大学医学部法医学講座　松本博志）

医師の子育て支援について

4班

遠田　晶生，遠藤　秀時，遠藤　瑠星
大島　麻美，生越　知樹，大関　佳奈
岡本　優衣，小川　望美

（福島県立医科大学医学部一年）

1. 研 究 動 機

私たちは，今回の医学セミナーのテーマ設定の際に，自分たちの未来を考えた。医師として働く一方，結婚し，子供を育てていくということはどのようなことなのか。医師に対する子育て支援にはどのようなものがあり，仕事と子育てを両立するにはどのようなサービスを利用しているのか。今回の調査を通して，医師への子育て支援についての知識を深め，将来を考えるきっかけにしたいと思い，このテーマ設定に至った。

2. 調 査 方 法

福島医大を中心に子育て支援の制度をインターネット等で調べるほか，本大学の男女共同参画支援室の小宮先生をはじめ実際に子育てをされている医師の方からお話を伺い，その内容をまとめた。

3. 福島医大の子育て支援

医師は急な呼び出しを受けたり当直があったりするため，仕事と家庭を両立するのが大変な職業である。福島医大は子供を持つ職員や学生のために託児所や保育所を設置している。ここでは，福島医大の子育て支援として，「すぎのこ園」と「すくすく」を中心に述べていく。

3-1　すぎのこ園

すぎのこ園は正式名称を「福島県立医科大学託児所すぎのこ園」と言い，学校法人に勤務する職員（研修医，准職員及び非常勤職員等を含む）及び福島県立医科大学に在籍する学生（博士研究員を含む）が利用できる施設である。入所定員は70名で，認可外保育施設となっている。保育サービスとして通常保育，夜間保育，一時保育の3種

表 1.　料金表

	時間	3 歳未満児	3 歳児	4 歳以上児
通常保育	7：30～18：30	57,000 円	35,600 円	29,500 円
夜間保育	17：30～7：30	1 人につき 1 回 2,000 円		
一時保育	7：30～18：00	2,900 円	1,800 円	1,500 円
	7：30～正午	1,800 円	1,100 円	900 円
	正午～18：00	1,800 円	1,100 円	900 円

類がある。通常保育は月曜日から土曜日の午前 7 時 30 分から午後 6 時 30 分まで，0 歳児から就学前児を対象としたサービスである。夜間保育は月曜日から金曜日のうち事前に申し込みをした 3 日間のみ午後 5 時 30 分から翌日の午前 7 時 30 分まで利用することが出来る。0 歳から 9 歳未満の乳幼児及び児童を対象とし，9 人を定員としている。一時保育は，就学前の乳幼児を，平日の日中に自宅で養育している配偶者や父母などの親近者等が，急病やけが，冠婚葬祭出席等の理由で一時的に保育できなくなる場合に利用可能なサービスである。月曜日から土曜日の午前 7 時 30 分から午後 6 時の間，月に 5 回まで利用でき，定員は通常保育数と合わせ施設の定員内で受け入れ可能な人数である。また，これらのサービスの料金は表 1 を参照してほしい。

3-2　すぎのこ園利用者の声

我々はすぎのこ園を利用された医師にお話を伺った。この方には 2 人のお子さんがいて，1 人目は生後半年から，2 人目は生後 10 ヶ月からサービスを利用されている。実際に利用してみた感想として，職場復帰をする上で近くに子供を預かってもらえる場があるのは便利で働く上で非常に大きな存在であった。仕事と育児の両立で大変だったことは，子供が急病になって保育園からの呼び出しが特に手術中にあることが大変であった。また，子供が病気のため園で預かってもらえない時などにベビーシッターやファミリーサポートがもっと充実してほしいとおっしゃっていた。さらに，これからの我々に対して，子育てと仕事を両立するにはどの科を選ぶかが非常に重要であること，忙しくても自分のやりたいことを見つけてやめないで続けることが大切であるとアドバイスもいただいた。

3-3　すくすく

「すくすく」は福島県立医科大学に設置されている病児病後児保育所であり，教職員及び学生の子供で病気または病気の回復期にあり，集団保育が困難な場合，一時的に子供を預けることができる施設である。定員は申し込み順に 4 名で，生後 6 ヶ月から小学校 4 年生までの乳幼児または児童を対象として月曜日から金曜日の午前 8 時から午後 6 時まで利用が可能であり，すぎのこ園との併用もできる。料金は 1 児童あたり 3,000 円であるが，病児病後児保育助成事業から 1,000 円（すぎのこ園利用者は 2,000 円）の助成金を受けることができる。

3-4　すくすく利用者の声

すくすくを利用された医師にお話を伺った。子供が急に病気になったとき，その場で対処してもらえる点で勤務に支障がなく，助かった。子供の具合が悪くても利用可能であること，職員の方々が面倒をよく見てくれたことで，安心して仕事ができたとおっしゃっていた。

3-5　その他の支援

産休・育休を受けることができるのはもちろん，急な残業や休日の出張が入ってしまったときに育児サポート（ベビーシッター）事業を実施している。また再就業のための臨床研修を支援するためにスキルラボを有するなど，復職支援にも力を入れている。

4.　他大学の子育て支援

福島医大の子育て支援と比較するために，福島医大近隣の大学に設置されている託児所について調べた。

4-1 筑波大学 ゆりのき保育所

ゆりのき保育所は，筑波大学職員の生後57日から小学校入学の始期に達するまでの乳幼児を対象とし，月曜日から土曜日の午前7時から午後9時までの利用が可能である。保育料は2歳以下が50,000円，3歳以下が37,000円，4歳以上が31,000円となっており，病児病後児保育には対応していない。

4-2 東北大学 星の子保育園

星の子保育園は，東北大学病院，大学院医学系研究科，加齢医学研究所及びメディカル・ケアバンク機構の教職員，大学院学生等の生後2ヶ月から小学校就学前の乳幼児を対象とし，年末年始を除く毎日利用が可能である。常時保育，延長保育，終夜保育，一時保育に対応している。

4-3 岐阜大学 保育園ほほえみ

岐阜大学教職員の生後57日から小学校就学前の乳幼児を対象として，月曜日から金曜日までは午前7時から午後10時まで，土曜日は午前8時から午後6時まで利用可能である。

4-4 比較

福島県立医科大学の託児所と比較すると，どの大学の託児所をも通常保育の時間が長い印象を受ける。また，筑波大学と比較すると，福島医大の方が料金は格段に安いことが分かる。

5. 海外の子育て支援

5-1 イギリス

わが国と同様に，医師不足や医師の偏在が社会問題としてあり，医師の養成や待遇改善のための保育所の整備・増設が課題となっている。イギリスでは，国民医療制度（National Health Service）に加盟している病院に勤務している女性医師は，一般の人と同様に有給で52週の出産休暇が取得できるようになっている。また，子どもが4歳になるまで，母親，父親のそれぞれが13週までの親休暇が取れるようになっている。

5-2 アメリカ

カリフォルニア大学サンディエゴ校（UCSD）には，6ヶ月～6歳児を対象とした定員約150名の付属保育所が設置されている。しかし，待機者が300名おり，医学部教員や医師の子供の入所は事実上困難である。また，時間外保育や病児保育は実施されていない。また，UCSDのスクリプス記念病院・研究所の職員家族を対象とした保育所は，3ヶ月～6歳児を対象に午前7時～午後6時45分の保育を行っているが，保育料が月額約13万円と高額で，時間外保育や病児保育は実施していない。

また，カリフォルニア州では医師・看護師の産休は6ヶ月間までで，それまでに復職しなければ，病院との契約が打ち切られるという。

5-3 スウェーデン

教育費が無料であることに加え，夫婦で合計18ヶ月の産後育児休暇を取得することが決められている。男性は最低2ヶ月の育児休暇を取らなければならず，さらに現在，男性がより長い休暇を取得し子育てができるような計画が進行中だ。なお，育児休暇中でも給与の80パーセントが保証されている。こうした手厚い制度により，出産後も約80パーセントの女性は働き続けている。

スウェーデンのカロリンスカ大学では，医学生の6割，附属病院医師の約半数は女性である。また，同大学医学部教授の16パーセントは女性だが，さらに女性の教授や部長を増やす計画も実施中だということだ。

5-4 オランダ

アムステルダム大学医学部でも学生の約半数は女性である。同大学メディカルセンターには26年前から保育所が設置され，3ヶ月～4歳未満の108名が入所している（オランダでは4歳から小学校入学）。入所児の親の半数は医師，残りは看護師，技師などだ。ただし，待機児が約100名いること，病児保育がないことが悩みだとのことである。

6. 他職種の子育て支援

ここでは医師以外の子育て支援の一例として，警視庁に勤める警察官の方々の子育て支援について述べる。警視庁では，支援として（1）休暇等の支援，（2）施設・制度面の支援，（3）出産費・祝い金等の支援がある。（1）には，産休，育児休業の他に妊娠中の職員の健康維持のため交通混雑を避けるための妊婦通勤時間病気やけがをした子

供の看護や予防接種，健康診断を受けさせるための子供の看護休暇，小学校就学前の子を育てるために，勤務時間内の始めと終わりに1日2時間以内で休業することができる部分休業などがある。(2) には，子育てアドバイザー制度や「保育ママ」紹介制度などがある。子育てアドバイザー制度とは，子育てを経験し知識のある幹部職員を「子育てアドバイザー」として指定し，相談に応じることで出産後の職場復帰を支援する制度である。また「保育ママ」紹介制度とは，子育て経験のある職員の家族を「保育ママ・延長ママ」として登録し，勤務のために子供の保育に困っている職員に紹介する制度である。また，家族住宅敷地内に設置の東京都認証保育所である「エデュケアセンター・めぐろ」があったり，ベビーシッター制度を利用できたりする。(3) では出産費や出産費附加金，出産祝金，育児休業手当金，保育サービス利用補助などを受けることができる。

7. ま　と　め

今回調査やインタビューを行って，他大学は，学内保育園の利用対象者に学部学生は含まれていないが，本学は学部学生の利用も可である点，病児病後児保育の利用が出来る点，夜間保育の利用時間が長い点から福島県立医科大学の子育て支援が手厚いことが分かった。全体のまとめとして，この理由を大学の設立や歴史の観点から考察してみたい。

福島県立医科大学はその直接の母体を福島県立女子医学専門学校とし，1967年6月18日に福島県立医科大学への大学昇格が決定するまでの3年間で女性医師を育成する機関として，産声をあげている。

東京教育大学を母体とし，高度研究を主眼にしている筑波大学，へき地医療の充実を主眼に置いている自治医科大学などとは異なり，女性医師，学生に対する支援が整っている。

しかし，本学の支援体制は同じ女子医学専門学校，高等工業学校を母体とする岐阜大学学内保育園などとも一線を画す支援の手厚さだ。

ではなぜ，福島医大の子育て支援が充実しているのか。それはひとえに男女共同参画支援室の働きがあってこそだ。男女共同参画支援室が活発に機能し，きちんと整備された支援制度を活用することが出来るため，医師という仕事と家庭を両立させることが可能であるのだ。

これが子育て支援について考えるきっかけになれば幸いである。

8. 謝　　辞

男女共同参画支援室　小宮ひろみ先生
循環器内科　坂本信雄先生
放射線科　海老潤子先生
耳鼻咽喉科　野本美香先生
お忙しい中，お話を聞かせていただき，ありがとうございました。

9. 参考資料・文献

1. 福島県立医科大学ホームページ
http://www.fmu.ac.jp/
2. ふるさとドクターネット広島
http://www.dn-hiroshima.jp/www/contents/1406804218412/index.html
3. 第7回JSWN総会
日本女性腎臓病医の会
http://www.pcoworks.jp/jswn/pdf/soukai_7.pdf
4. 筑波大学ゆりのき保育園入所のしおり
5. 東北大学星の子保育園入園要綱
6. 岐阜大学保育園ほほえみ入園要綱
7. 女性がもっと輝ける警視庁情報
http://www.keishicho.metro.tokyo.jp/saiyo/26/about/child_support.html#support01

日焼けが皮膚に及ぼす影響について

5班

小野　直人，梶原　宏太，片岡　秀真
加藤　裕樹，上栗　千典，上村　周平
川崎由希子，川又　諒

（福島県立医科大学医学部一年）

▼テーマ設定理由

近年，高齢化社会が騒がれていることを受けて，老化という現象に興味を持った。一言に老化といっても様々な意味が含まれているが，もっともはっきり違いが出るのは肌の老化であると感じる。